平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名　ソーダニッカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8158　URL　http://www.sodanikka.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長洲 崇彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長　(氏名) 大村 昭　TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,108	△4.1	590	△20.0	662	△19.3	252	△48.1
24年3月期第2四半期	48,060	△2.6	738	△21.0	820	△15.6	486	△15.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△258百万円　(—%)　24年3月期第2四半期　219百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.11	—
24年3月期第2四半期	19.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	51,510	15,665	30.4
24年3月期	53,510	16,101	30.1

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　15,665百万円　24年3月期　16,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
25年3月期	—	6.50			
25年3月期(予想)			—	6.50	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△0.5	1,350	6.0	1,450	5.2	720	0.5	28.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」 第10条の5に該当するものであります。詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	25,168,000 株	24年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	209,972 株	24年3月期	203,706 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	24,962,047 株	24年3月期2Q	24,971,183 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報…… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3

2.サマリー情報(注記事項)に関する事項…… 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4

3.四半期連結財務諸表…… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 10
(5) セグメント情報等 …… 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要もあり、緩やかな回復の兆しがみられましたものの、欧州債務危機を背景にした円高・株安の影響や中国などの海外経済の低迷等も加わり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましては、円高や海外経済の減速のあおりを受け輸出が伸び悩み全般的に稼働率が上がらないなど、総じて厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、中国をはじめとする海外取引の拡大と再生可能エネルギー関連資材の販売等、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高461億８百万円（前年同期比4.1%減)、営業利益５億９千万円（同20.0%減)、経常利益６億６千２百万円（同19.3%減)、四半期純利益２億５千２百万円（同48.1%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の回復があり増収となりました。重炭酸ソーダは用途拡大により増収となりました。また過酸化水素は供給体制が安定したことなどにより増収となりました。電池用マンガン化合物、製紙向け炭酸カルシウム及び洗剤用途のソーダ灰は需要の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、メタノールは増収となりましたが、製紙用ラテックス、建築材料用のシリコーン及びエポキシ樹脂原料は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ4.3%減の331億３千９百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ1.9%減の11億７百万円となりました。

【機能材事業】

合成樹脂につきましては､ポリエチレン樹脂は増収となりましたが､フッ素樹脂は減収となりました。

また、フィルム類につきましては、ポリプロピレンフィルム、ナイロンフィルム及びポリエチレンフィルムは需要が振るわず減収となりました。

機器類につきましては、包装関連機器及び電気関連機器は増収となりましたが、排水処理装置及び排ガス処理装置は減収となりました。

その他の資材につきましては、飛灰処理用キレート剤及び高機能樹脂製品は震災の復興需要もあり増収となりましたが、ディスプレー向け硝子加工品及びグラウト材料は減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ5.2%減の125億３百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ41.0%減の２億３百万円となりました。

【その他事業】

その他の事業につきましては、連結子会社の曹達日化商貿(上海)有限公司の増収などにより、売上高は前年同期に比べ89.0%増の４億６千５百万円、セグメント利益（営業利益）は平成24年６月にカネセイ産業株式会社を連結子会社としたことに伴い発生した費用等により、前年同期に比べ36.5%減の８百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

【財政状態の分析】

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ19億9千9百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が12億6千万円増加し、受取手形及び売掛金が20億7千万円、投資有価証券が10億3百万円それぞれ減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が13億3千1百万円減少いたしました。純資産の部ではその他有価証券評価差額金が4億9千2百万円減少しております。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億5千2百万円増加し53億7千9百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは14億3千2百万円の増加となりました。これは税金等調整前四半期純利益が4億2千2百万円でありましたが、投資有価証券評価損が2億4千8百万円、売上債権の減少が23億5千2百万円、仕入債務の減少が16億円、法人税等の支払額が2億2百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは6千9百万円の増加となりました。これは主に敷金及び保証金の回収による収入4千7百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億3千8百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払額1億7千3百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済の見通しにつきましては、欧州や中国などの海外経済が先行き不透明な中、長期化する円高やデフレなど企業収益に悪影響を及ぼす要因や雇用環境の悪化も懸念され、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような事業環境の中で、当社グループにおきましては、引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、財務体質の強化と経営の効率化を図り、収益の改善に向けて全社一丸となって邁進する所存でございます。

なお、平成24年7月27日に開示いたしました平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の化学品事業及び機能材事業の業績動向を踏まえ次のとおり修正しております。

平成25年3月期　通期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	98,000	1,450	1,550	850	34 05
今回修正予想(B)	96,000	1,350	1,450	720	28 85
増減額(B-A)	△2,000	△100	△100	△130	―
増減率(%)	△2.0	△6.9	△6.5	△15.3	―
(ご参考)前期実績(平成24年3月期)	96,484	1,273	1,378	716	28 70

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成 24 年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法（200％定率法）に変更しております。
これにより、従来の方法と比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,126	5,387
受取手形及び売掛金	35,318	33,247
商品及び製品	5,130	5,244
繰延税金資産	118	122
その他	662	111
貸倒引当金	△99	△78
流動資産合計	45,257	44,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	408	405
土地	1,083	1,083
その他（純額）	74	65
有形固定資産合計	1,566	1,555
無形固定資産	261	234
投資その他の資産		
投資有価証券	5,636	4,633
長期貸付金	57	53
その他	917	1,185
貸倒引当金	△187	△186
投資その他の資産合計	6,425	5,685
固定資産合計	8,252	7,475
資産合計	53,510	51,510

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,818	26,487
短期借入金	7,000	7,000
未払法人税等	208	173
賞与引当金	220	230
役員賞与引当金	38	19
その他	761	581
流動負債合計	36,046	34,491
固定負債		
繰延税金負債	26	－
再評価に係る繰延税金負債	245	245
退職給付引当金	535	526
長期未払金	24	－
その他	530	582
固定負債合計	1,362	1,353
負債合計	37,408	35,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	8,514	8,591
自己株式	△54	△57
株主資本合計	15,351	15,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	640	147
繰延ヘッジ損益	0	△8
土地再評価差額金	133	133
為替換算調整勘定	△24	△34
その他の包括利益累計額合計	749	238
純資産合計	16,101	15,665
負債純資産合計	53,510	51,510

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	48,060	46,108
売上原価	44,970	43,071
売上総利益	3,090	3,037
販売費及び一般管理費	2,351	2,446
営業利益	738	590
営業外収益		
受取利息及び配当金	84	84
貸倒引当金戻入額	26	22
その他	23	17
営業外収益合計	134	124
営業外費用		
支払利息	30	39
売上割引	4	5
その他	17	8
営業外費用合計	52	53
経常利益	820	662
特別利益		
災害損失引当金戻入額	18	－
移転補償金	－	16
特別利益合計	18	16
特別損失		
出資金評価損	5	－
投資有価証券評価損	－	248
事務所移転費用	－	6
特別損失合計	5	255
税金等調整前四半期純利益	832	422
法人税、住民税及び事業税	321	166
法人税等調整額	25	3
法人税等合計	346	170
少数株主損益調整前四半期純利益	486	252
少数株主利益	－	－
四半期純利益	486	252

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	486	252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	△492
繰延ヘッジ損益	△15	△8
為替換算調整勘定	1	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△266	△510
四半期包括利益	219	△258
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	219	△258
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	832	422
減価償却費	80	72
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△29	△23
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3	△9
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△41	－
受取利息及び受取配当金	△84	△84
支払利息	30	39
投資有価証券評価損益（△は益）	－	248
出資金評価損	5	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,677	2,352
たな卸資産の増減額（△は増加）	△107	△114
仕入債務の増減額（△は減少）	△579	△1,600
その他	△202	285
小計	1,586	1,588
利息及び配当金の受取額	84	84
利息の支払額	△39	△47
移転補償金の受取額	－	16
移転費用の支払額	－	△6
法人税等の支払額	△451	△202
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,179	1,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△32
無形固定資産の取得による支出	△174	△7
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
貸付金の回収による収入	1	1
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△4
敷金及び保証金の回収による収入	2	47
その他	△1	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	69
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△150	△173
その他	△3	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	831	1,252
現金及び現金同等物の期首残高	5,986	4,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,817	5,379

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年９月 30 日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年９月 30 日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	34,630	13,183	246	48,060	―	48,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	14	14	△ 14	―
計	34,630	13,183	261	48,075	△ 14	48,060
セグメント利益	1,128	345	14	1,488	△ 750	738

(注) 1. セグメント利益の調整額△750 百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年９月 30 日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	33,139	12,503	465	46,108	―	46,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	166	166	△ 166	―
計	33,139	12,503	632	46,275	△ 166	46,108
セグメント利益	1,107	203	8	1,320	△ 729	590

(注) 1. セグメント利益の調整額△729 百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年９月 30 日）

該当事項はありません。